

L'operaio



L'operaio

<http://www.loperaio.co.jp/>

外車を販売している「L'operaio」社（東京・練馬区）では5月から、販売収益の一部をNACS-Jに寄付していただくことになりました。

購入されるお客様に趣旨を説明し、了承されたお客様からのご寄付として扱われます。

< お問合せ >

TEL:03-3990-2222

「自然を愛せないと必ず自分にかえってくる」

代表取締役・早水 彰さんから

店名の由来を教えてください。

イタリア語で『職人』とか『修理工』という意味があります。小さな店舗を2人から始めたのですが、いつも夢は大きく見ていました。大きな会社になっても1人1人のお客さまを大事にできるよう、大きな顔をせずに、修理工のように自分から、油まみれになりお客様につくせる自分たちでありたいそう考えてつけました。『L』の『 ' 』は、スパゲティー屋の名前などにある、『LA ~』の短縮形です。

ご寄付を思いつかれた経緯は？

会社を立ち上げたときに考えていたことだったのを、最近思い出しました。小さな会社なので、このご時世ですから有り余る広告費なんかありませんし、会社は、このごろ良くなるはなりましたが、たいした余裕はありません。ただ、今までの経験で、地球や自然、社会に対してよい事をしてうちの会社は悪くなったことはありませんし、自然保護をしたらつぶれたという会社も知りません。むしろ、そのような考えを持っていない会社だからだめになる。多分、どうやらそんな風にして地球や宇宙は、意思をもって回っている。そういう確信があるからだと思います。できる限り続けていきたいと思っています。

お客様の反応はいかがですか？

まだ始めて20人ほどしか申し込みをいただいておりますので定かではありませんが、ほとんどのお客様が、事務的に話を聞いてサインをするという状態です。もう少しアピールを大きくする必要があると思っています。4、5人関心を持っていただいたお客様もいらして、『ガソリンまいて走るんだから、少しは、自然保護考えないとね〜』とおっしゃったお客様もいらして、うれしく思いました。このようなお客様が少しでもいらっしゃれば、今後はもっと効果はあがると思います。



早水さんご自身の自然に関する体験を聞かせてください。

物心がついたときには釣りをしていましたし、家のすぐ裏には山がありましたので、常に自然と向かい合わせでした。こどものころ毎朝クワガタを採りに通った山が削られてゆくのをみると寂しくなりますし、今の子はどこでクワガタを採れと言うのか、市や都に聞いてみたいと思います。

今でも、週に1度は、自然に触れないと頭が痛くなり（肩がこるのですが・・・）いらします。釣りなんかに行くと治ります。本来人間も、自然の中の一員なだけで、トライアングルの上の方にはいますが、人間中心なわけではない、自然からすると、一番いらないのは人間のような気がします。このごろわかってきましたが、自然を愛せないと必ず自分にかえってくる、大量につくり大量に消費するのではなく、自然の一員と思う謙虚な姿勢が、私たちの営みをうまくいかせるコツだと思うようになりました。簡潔にいうと、釣りに行ったときに、ごみぐらい持ち帰らないと次に釣りに行っても、魚は遊びに来てくれないのだと思います。

NACS-Jに期待することはありますでしょうか。

私どものような小さな会社の寄付を受け入れていただけることに、感謝しています。活動については、いくらか調べさせていただいてからお伺いさせていただきましたが、車に対しての問題についての活動については、分野が違うのでしょうか？わかりませんが、排気ガスやリサイクル問題をこのごろ良く考えます。私どもでは、次に考えていることとして、廃車代をつけた車両の販売を検討しております。ヨーロッパのなかには、新車を販売するのに、廃車するときの費用を含まなければならない法律を採用している国もあると聞きます。車に関わる事でしたら、何かしら、お手伝いできることと思いますので・・・